

常陸川水門の稼働状況と本市の下水道整備状況について



藤川 富雄 議員

**質問** 集中豪雨の際、市内下水道の氾濫を防ぐため、ポンプ場を稼働し、また桜川の水位を下げるために常陸川水門を開放して被害を少なくしていた。そこで、この常陸川水門の稼働状況及び旧市内の下水道の整備状況について伺う。

**市民生活部長** 常陸川水門は、昭和三十八年、霞ヶ浦湖水位の低下を図るとともに、利根川からの洪水の逆流及び塩害の遡上を防ぐため、当時の建設省によって、利根川との合流点、現在の神栖市太田地区内に設置され、霞ヶ浦本来の機能を維持できるように、水位管理を行っている。国土交通省では、年間を通じて概ね八十日から百日程度開けていると伺っている。

**建設部長** 本市の公共下水道の整備については、昭和四十一年度から浸水対策事業として、

中心市街地を中心に、計画面積百七十七ヘクタールを合流方式による手法で事業着手し、現在まで整備を進めてきた。

その結果、整備状況の指標でもある人口普及率は、平成十九年度末で八六・九％に達しており、全国平均七十二％、県平均五十三％を大きく上回っている。今後とも、計画的な整備と適正な維持管理に努めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 一 再開発事業について
- 二 ゴミ問題について
- 三 医療について
- 四 地産地消の推奨について

茨城空港の活用について



塚本 昌毅 議員

**質問** 平成二十二年三月に開港予定の茨城空港の活用について、県では国内線・国際線の就航を視野に入れ、空港対策課と観光物産課が連携し、

広域観光ルートの開発に取り組んでいる。本市においても、

茨城空港を利用した独自の観光ルートを企画するなど、積極的な観光事業に取り組んではいかがか。

**産業部長** 本市としても茨城空港から三十キロメートル以内と近接しており、開港によって地域振興に弾みがつくと考えている。県の振興計画において新たな広域観光ルートの起点・終点に位置付けられており、現在策定を進めている

土浦市観光基本計画においても、他市町村との連携による広域ネットワークの拠点として検討されると思われる。空港にはPRブース(宣伝広告用の間仕切りされた場所)が設けられる予定であることから、霞ヶ浦など、本市の豊かな自然の紹介や、全国に誇る花火競技大会を始めとする多彩なイベント案内など、積極的に活用したい旨の申し出を行っている。



市営住宅にエレベーターの設置を



川口 玉留 議員

**質問** 土浦駅西口、東口にエスカーレーターやエレベーター等が設置され、また、各公衆施設への一部設置もされており、高齢化社会を迎え、市民から好評をいただいている。ぜひ、市営住宅へも設置していただきたいが、見解を伺う。

**建設部長** 今後の整備計画については、平成二十七年までを計画期間として策定した土浦市市営住宅ストック総合活用計画において、既存住宅の居住性、安全性の維持保全を図り、長期的に活用するため、改善計画がまとめられており、その中でエレベーター設置を位置づけている。現段階では、まず階数の多い五階建ての住宅について、設置場所、建物の強度等を調査検討している。設置整備に掛かる工事費も高額となることから、財政面においても国の補助金等、財源確保に努め、整備してま

いりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 一 農業政策について
- 二 ふるさと納税への取り組みと本市の対応について

定例会の詳細につきましては、下記施設にあります会議録を御覧ください。なお、平成20年第3回定例会の会議録につきましては、12月上旬頃閲覧可能となる予定です。

- 図書館
- 神立出張所
- 四中地区公民館
- 南支所
- 都和公民館
- 上大津公民館
- 上大津支所
- 一中地区公民館
- 六中地区公民館
- 都和支所
- 二中地区公民館
- 新治地区公民館
- 中央出張所
- 三中地区公民館

Tsuchiura City Assembly

市議会の模様は、土浦ケーブルテレビで議会初日翌週の月曜日から、

午後10時~11時まで

順次録画放送予定です。

宍塚大池散策路整備事業と宍塚小学校の現状と今後について



竹内 裕 議員

**質問** 宍塚大池に関わる散策路整備事業について、上高津の考古資料館・歴史の広場から宍塚大池の間に、土浦市土地開発公社の保有地があるため、以前からこれを利用して散策路整備を提案してきた。平成十二年九月に、整備検討の答弁をいただいているが、公社保有地の有効活用を含めた現在の進捗状況について伺う。また、児童数四十名台の宍塚小学校の存続について、統合計画を推進する県教育委員会への対応について伺う。

**副市長** 平成十四年度、宍塚大池周辺地区散策路整備基礎調査を実施し、ルートを選定を行った。その中で、地区の南北を通過する旧鎌倉街道と東側から接続する二つのルートの路面整備を進め、今年度整備完了予定となっている。これにより、三カ所の先買い地と散策路の接点が設けられ、

また上高津貝塚と宍塚大池を結ぶネットワークによって、来訪者の相互往来と相乗効果が図れることから、教育委員会とも十分に連携してまいりたい。

**教育長** 県教育委員会の指針では、小学校において、クラス替えが可能である各学年二学級以上の十二学級が望ましいとの内容であり、この指針を下回る本市の小学校は、宍塚小学校を含めて約七校である。自分の出た小学校に対する思いや歴史は皆さんお持ちであり、学校の統廃合は簡単ではないと思うが、平成二十一年度には、学識経験者や地域の代表者、保護者の方々等から成る、「学校の適正配置に関する検討委員会」を立ち上げ、検討をしていきたい。



宍塚大池

常任委員会  
**行政視察**

各常任委員会では、議会活動の一層の充実を図るため、先進都市の優れた行政や施設などを視察し、今後のまちづくりに役立てていきます。

【建設委員会】

期日 平成二十年七月 八日～十日

場所 北海道釧路市・斜里町・網走市・北見市

**内容** 釧路市では、平成六年に釧路川リバーサイド基本計画を策定し、議会にリバーサイド整備推進特別委員会を設け、市民・行政・議会が連携したりバーサイド構想を進めており、災害・自然環境・社会環境を整備方針の基本とした公園・プロムナード等の整備について説明を受けました。

斜里町では、店舗や住宅が国道沿線へ郊外化していることから、中心市街地活性化を目的に、テラスや集会場を備えた情報交流センター道の駅を建設しました。情報を発信する事により、郊外から中心市街地へ人を呼び込んで活性化を図る建設経緯など、事業の取り組みについて説明を受

けました。

網走市では、行政区内の国定公園や恵まれた自然の緑、それを作り出す景観は市民共通の資産であるとし、これを守りつつ、次世代へ引き継ぐ景観と緑の基本計画について説明を受けました。策定に当たっては、市民の思いやアイデアを取り入れたもので参考になりました。

北見市では、借上げ市営住宅制度について説明を受けました。この制度は、民間事業所が中心市街地活性化に寄与するまことに、市で定めた公営住宅整備基準によって集合住宅を建設、それを二十年間市で借上げ、公営住宅として市民へ転貸するものであり、大変参考となる研修でありました。



議案質疑発言議員

議案質疑とは、提案された議案に対して、詳しく知りたい点などを執行部に聞くことです。(質問掲載)

【柏村忠志議員】

【竹内 裕議員】

【井坂正典議員】

一 市による土浦市駅前北地区再開発事業でのマンション建設の可否を問う住民投票条例の制定について

●議会報編集委員会●

- 委員長 吉田 博史
- 副委員長 竹内 裕
- 委員 荒井 武
- 海老原 一郎
- 小林 幸子
- 福田 一夫

